

【2016年政経倶楽部 上期総括レポート(大阪支部設立5周年・仙台支部設立へ始動)】

大阪支部設立5周年おめでとうございます。大阪支部の益々のご発展を心より祈念しております。さて皆さん、2016年1月元旦に飛び込んで来た世界のトップニュースを覚えていらっしゃいますでしょうか？イランとサウジアラビアの国交断絶です。もし20年～30年前であればオイルショックの再来にもなりえた事態です。そして、あのトランプ氏が、アメリカの大統領候補となった現実。昨年からの年頭に誰が予測できたのでしょうか。また、6月23日のイギリスによる国民投票の結果としてのEU離脱決定は、数日間にわたり世界の金融マーケットを揺り動かしました。一方、我が日本では、7月10日の参議院選挙の結果、戦後初めて改憲勢力衆参2/3のという政治構造が出来上がりました。政経倶楽部が学ぶ林主席顧問の文明法則史学の視点から見れば、2000年をクロスポイントとして、まさに西洋の時代から東洋の時代にパラダイムシフトする大きな流れの中の出発点と見られるのではないのでしょうか？

今期、政経倶楽部としては、設立以来初めて会として、一党一派に縛られることなく参議院全国比例候補者 山田宏さん(当会の講師として何度か講演いただき、当会の基本三つの基本理念を具現化する人材として)を応援する事を機関決定し、見事に当選に至りました。政経一体でこの国を本気で良くしてゆく政治家を育てる活動の一貫を実践できた結果です。

今期、東北・北海道の地の拠点として仙台支部を立ち上げるべく動いています。政経倶楽部が全国展開している意味合いもまさに政経のパラダイムシフトの受け皿として必要な会であることを皆さんと共に推し進めて行きます。ご協力をよろしくお願い致します。



政経倶楽部連合会理事長
吉田 平



政経倶楽部連合会ファウンダー
寒竹 郁夫

まず先に7月10日に投票となった第24回参議院選挙について触れたいと思う。山田宏氏を筆頭に、これまで講師としてお越しいただくなど政経倶楽部に縁ある方々がご当選されましたこと、心よりお祝い申し上げます。我々が掲げる日本創生に共感してくださる本物の政治家が当選・続投となった事で、その実現に向けて政治の側面から今後大きく動くことができるだろう。

政経倶楽部も創設から早13年となる、去る5月には大阪支部が設立5周年を迎え記念例会が行われた。講師にケントギルバート氏をお招きし、非常に熱気と活気に満ちた例会となり、各支部が着実に活動を積み重ね育っている手応えを感じた。

そして仙台支部設立の進捗状況もお伝えしたい。5月に主席顧問である林先生の愛弟子である渡辺勝幸宮城県議主催のフォーラムにて政経倶楽部について説明を頂く機会を得る事が出来た。限られた時間だったが大きな第一歩をようやく踏み出した。仙台支部は東北・北海道を担う重要な要として、支部の設立を心待ちにしている。小さな活動ではあるが、会員みなさまのお力添えによって大きなムーブメントとなる。引き続き応援をお願いします。



5月28日 新大阪ワシントンホテルプラザにて大阪支部設立5周年記念式典開催



上能大阪支部長の冒頭挨拶～設立5周年までの道程と今後を熱く語って頂きました



ケントギルバート氏の特別基調講演～設立5周年に華を添えて頂きました



大阪支部設立5周年のお祝いにも本部・各支部からも駆けつけて下さりました



懇親会風景～寒竹ファウンダーの音頭で乾杯！大阪支部への期待が高まりました



同日に開催しました「支部長会議」風景～本部・全6支部が真剣に議論をしました

「日本政経連合総研レポート」第8号 公益経済(日本的経済)基本精神7カ条

「3つの基本理念」に「公益経済の確立」があります。その心得として、公益経営の7つのキーワードを述べてみます。ご参考にできれば幸いです。 主席顧問 林 英臣

- 1「理念」がありますか？**
理念は考え方の基準です。何のため誰のための経営なのかを、今一度考えましょう。「理」は玉を磨くように筋道を整えることです。理念は決断や判断の元でもあります。
- 2「本物」をつくっていますか？**
独自性を養い、品質を最高水準に高め、安売り競争から脱出しましょう。人間国宝は超本物をつくります。値段が高くて、本物にはファンが付くから売れるのです。
- 3「信用」を培っていますか？**
信用なくして持続も繁栄もありません。地道な勤勉努力や、小さな約束を疎かにしない真面目さを大切にしましょう。理念や信念に外れた仕事は、決して受けてはなりません。
- 4「互恵」を意識していますか？**
自社だけ、自分だけ儲けるのではなく、お客様は当然のこと、同業者や取引先と共に栄えていくよう留意しましょう。仲間と息を合わせて仕事をするのは、日本人のお得意意です。
- 5「年輪」成長を心がけていますか？**
能力を超えた急激な成長を求めてはなりません。ブームに注意し、着実な年輪成長を目指しましょう。高調期に儉約に努めて蓄積すれば、低調なときにうろたえずにすみ、次の準備を進めることが出来ます。常に遠くを慮り、長く続けて老舗となるのが日本経営道です。
- 6「上下一体」の社風がありますか？**
上は下のために、下は上のために努力してこそ、組織は一丸となります。社長は社員の幸せを導き、社員は社長の志実現を心がけましょう。教育を徹底し、一緒に学んで「共通言語」を増やして下さい。その言葉を出した瞬間、直ちに気持ちが伝わるのが共通言語です。
- 7「感謝」の心がありますか？**
人間力によって沢山の人の味方に付けていく人は、例外なく「お陰様の心」を持っています。多くの困難や挫折を乗り越える力は、感謝報恩の心から出てきます。神仏は祈る人にヒントをくれます。御先祖は手を合わせる子孫を守ってくれます。理屈ではありません。



政経倶楽部連合会主席顧問
林 英臣

【政経倶楽部連合会 全6支部 最新活動レポート】

<東京支部>

大阪支部設立5周年おめでとうございます。役員の皆様の日々のご努力に敬意を表します。さて、第24回参議院選挙ではご縁ある方々の当選に沸きました。全国比例では、山田宏氏(自民党)、片山さつき氏(自民党)、渡辺喜美氏(おおさか維新の会)。選挙区では、民進党の小西洋之氏(千葉)、蓮舫氏(東京)、大野元裕氏(埼玉)、桜井充氏(宮城)。今後も、魅力的な講師をお招きします。7月は藤巻健史参議院議員(おおさか維新の会)が深刻な経済問題をユーモア交じりに熱く語って下さいました。9月1日(18時半)はワタミグループ創業者、渡辺美樹参議院議員、12月3日(土・15時)東京・千葉県支部合同例会は、森本敏元防衛大臣のご講演です。乞うご期待！

―― 谷口 郁子 東京支部長



H28・5月度東京支部例会



H28・7月度東京支部例会

<千葉県支部>

大阪支部設立5周年、おめでとうございます。素晴らしい記念式典であり、千葉県支部も大きな刺激を受けました。今後は他支部役員との交流を更に深める事で自支部の成長に繋げて行きたいと考えます。

さて、今年度も上期を終え下期に突入致しました。「地方創生」をテーマとして活動してまいりましたが、やはり「幕張IR誘致」を主軸に推進する事で、この千葉に明るさを出して行く必要性を再認識しております。とにかく行動で結果を出して行きますので、引き続き会員様・関係者様のご理解並びにお力添えをお願い申し上げます。

―― 山本 克己 千葉県支部長



H28・6月度千葉・東京合同例会



H28・7月度千葉県支部例会

<大阪支部>

去る5月に大阪支部設立5周年例会を開催させて頂きました。当日は多くの会員様、そして本部・各支部役員の皆様のご列席を賜り厚く御礼を申し上げます。参議院選挙も終わり、政経倶楽部連合会として支援していた山田宏さんが見事に当選され、今後日本のために大いに活躍されることを期待しています。イギリスでは国民投票によりEU離脱が決定されました。かつて大阪では大阪府構想が大阪市の住民投票により否決されています。この両者に共通するのは、国民の真意が必ずしも反映されないことだと感じています。参議院でも改憲派が三分の二以上を占め、憲法改正の国会発議ができるようになりましたが、国民の過半数の賛同は、マスコミの世論調査においてもまだ改憲の域に達していません。今後は、占領憲法を廃止し、自主憲法の制定に向かうための世論を大阪から高めていく所存です。

―― 上能 喜久治 大阪支部長



H28・4月度大阪支部例会



H28・5月度大阪支部設立5周年例会

<名古屋支部>

大阪支部の皆様、支部設立5周年、誠にありがとうございます。ケントギルバート講師をお招きしての記念行事は流石だと思いました。上能支部長のお話もユーモアたっぷり面白かったです。お祝い申し上げます。

さて今年の政経倶楽部名古屋支部は、例会・勉強会・イベント等全てにおいて政経倶楽部の3つの基本理念を重点に置き計画を立てました。月々の講師選定、その講師の取り組まれている地域再生の現場視察、先進地域の視察、農業体験の実施など過密なスケジュールを楽しんで取り組んでいます。このような計画を立て実行出来るのも、三役の息が合っているからです。またそれを支えてくれる幹部の方々の協力がある事です。しかし、会員数を増やせない、幹部役員が少ない、との事が重要課題です。でも、新たな人材が現れる予感がしています。全員で頑張ります。年末にご期待下さい。

―― 牧山 育美 名古屋支部長



H28・6月度名古屋支部例会



H28・7月度名古屋支部例会

<広島支部>

大阪支部設立5周年おめでとうございます。

10月で広島支部も設立2周年になりますが、まだまだ組織として未成熟で、支部役員の数も少ないまま、会員増強・例会動員に苦勞しております。

今年度の例会では昨年に続き、本部・各支部から講師をお迎えし、政経倶楽部の基本的なあり方を学びました。

来年度は例会運営に工夫を凝らし、講師にも政治家や志のある経営者を迎えたいと考えております。

また、経営者を集めた勉強会も実施し、ビジター・会員候補の獲得に繋げて行きたいと考えております。

―― 佐藤 克則 広島支部長



H28・4月度広島支部例会



H28・7月度広島支部例会

<九州政経倶楽部>

大阪支部設立5周年、おめでとうございます。「設立5周年記念例会・懇親会」に参加させて頂き、更にパワーアップされた大阪支部に感動すると同時に九州政経倶楽部発展のヒントを数多く得る事が出来ました。

九州政経倶楽部は昨年5月から運営を再開し、早くも1年が経過致しました。試行錯誤の日々ですが、運営に手応えを感じております。継続・積み重ねの大切さが何よりも大切であると実感しています。

今年度は「初心に帰る事」を念頭に活動方針を協議した結果、当会首席顧問である林英臣先生に3回に渡るご講演(2月・5月・7月)を頂戴致しました。九州政経倶楽部としての使命とは何か？林先生の熱いご講演で再確認が出来ました。現在は少しずつではありますが、例会参加者数も増え、会員も増えてまいりました。しかしながらまだまだこれからですので、決して気を緩める事無く九州政経倶楽部発展に役員一同、全力で取り組む所存でございます。

―― 毛利 克彦 九州政経倶楽部支部長



H28・3月度九州政経倶楽部例会



H28・3月度九州政経倶楽部懇親会